# 平成26年度 決算説明書/事務事業評価シート

課 名 会計課

<b>又</b> ′	款	項	目	決算書			
」	2	1	3	104	頁		

	目	名	
会計管理費			

事業名称
会計管理事業

# 1. 概要

目的	公金出納事務の適正かつ迅速な執行を行う	対象	市民·業者·職員等
事業概要	○会計管理事業 →歳計及び歳計外現金の出納・保管(歳入・歳出) 支払に伴う伝票審査 基金の管理・運用 決算の調製 窓口収納業務 経理事務説明会の実施 公金管理運用検討委員会の開催		

臨/経 細事業名称 事業内容(主な経費等)		予算現額	決算額	財源内訳						
	48 3. NO E 13		, , , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , </u>	(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	評価
経常	会計管理事業	歳計及び歳計外現金 の出納・保管等	役務費	2,301	2,175				2,175	3
		<u> </u> 計		2,301	2,175	0	0	0	2,175	
		п		2,301	2,175	U	0	0	2,175	

#### 2. 指標設定

_	******										
	成	お 押る	z 適I	Eかつ迅速な事務処	目				指標の設定理由		
	果	指標名	理		標	_	①支払事務を迅;	車に行	うためにけ 正確な終押す	主称た	行う心亜がある
	指 標	数值		_	年 度			事務を迅速に行うためには、正確な経理事務を行う必要がある D適正管理、運用を行うため			
	活動	指標	а	経理事務説明会の実	色 b	公金管理	里運営委員会の開催	С		d	
	指 標	数値	目標	年2回(H23~)	目標		年2回	目標		目標	

## 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 4	H 2 5	H 2 6
適正かつ迅速な事務処理		_	_	_
<b>旭正が、7世座な事物地理</b>		_	_	_

_4. 課題と対応
課題
財務会計システム等の周知・徹底に努めているものの、経理事務に 不備が生じるケースがある。

対応(改善点等)
- 般職及び管理・監督職を対象とした説明会を実施すると共に庁内ネットワークを利用し、経理事務の周知・徹底を図る。また、公金の取扱及び事務処理について指導、検査を行う。

活	動指標名	単位	H 2	4	H 2	5	H 2	6
а	経理事務説		1	回	1	□	2	□
a	明会の実施	ш	50.0	%	50.0	%	100.0	%
b	公金管理運 営委員会の		2	口	2		2	口
D	開催	ш	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			-		_		_	
С			-		_		_	
d			-		_		_	
a			ı		_		ı	

### 5. 事業費・・・H24~H26 (決算額)、H27 (予算現額)

決 算 額 (千円)		H24	H25	H26	H27
		2,425	1,577	2,175	1,405
	うち経常経費	2,425	1,577	1,019	1,405
	国 費				
財	県 費				
源	市債				
内訳	その他				
小山	一般財源	2,425	1,577	2,175	1,405
	うち経常	2,425	1,577	1,019	1,405
事業費に係る人件費		30,056	25,020	25,549	25,020
事	F業費に係る人役	7.00	5.74	5.76	5.61

#### 6. H28年度予算の方向性

•	). NLO午及了异切刀叫任							
	方向性							
	前年並							
	理由							
	会計事務処理に必要な事務費である。							

#### 7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠					
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	必要不可欠な事業である					
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている					
③ 手段の 妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である					
④ 事業の 有効性	成果指標の判断	2	更に公金出納事務の適正化に努める 必要がある					

#### 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向	]性	評価内容
継続		引き続き公金の適正管理に努めること。